

「一箱古本市 in オギノ通り祭」 店主マニュアル完全版

この度はニイガタブックライト第2回企画「一箱古本市inオギノ通り祭」にお申込みいただき、ありがとうございます。お申込を受領した出店者の皆様に、このマニュアルをお届けしています。

ルールを守り、当日皆さんで楽しんでいただけるよう、こちらの「店主マニュアル」をよく読んでからご準備・ご参加ください。

よろしくお願ひ致します。

ニイガタブックライト事務局(直接のお問合あせ)

〒951-8124 新潟市中央区医学町通2番町10-1 ダイアパレス医学町101 北書店
お電話でのお問合あせ:090-3753-9545(亀貝太治)/025-201-7466(北書店・佐藤雄一)

メールでのお問合あせ:kamegai@niigatabooklight.com

→公式WEBサイト(「ニイガタブックライト」で検索)の「お問合あせ」より

準備編

【以下の持ち物を準備お願いします。】

- 古本(スリップ(後述)の抜けがないか確認してください) 予備スリップ(後述)
- 本を入れる箱(材質などは自由です。) 店名の看板・POP類・飾り
- 机・イス・敷物など(今回事務局側で用意はありません。必要なものを用意ください。
1×1mを超える机は不可です)
- 大きめのビニール袋など(急な雨の際、箱の上から掛けます。半透明より透明がベストです。)
- 現金を入れるケース(身に付けられるものにして下さい)
- 釣銭(必須です!釣銭両替の用意は事務局にはありません。自己責任でお願いします)
- その他販売する雑貨など(価格が分かるように) 椅子(追加が必要な場合))
- 店主マニュアル 筆記用具 電卓

a) 本の冊数について

一度に販売できる冊数は、おおよそダンボール1箱(両手で持てる程度の大きさまで)に収まる数量とします。

また、この中に収まる限り、**本以外の雑貨を販売してもOK**です。

箱の中身が売れた場合の補充分は、自分で持てる限りなら、いくら持ってきてもOKです。ただし、他の人のジャマにならないように置いてください。補充分を箱の外に置いたりして同時販売するのは不可です。必ず、箱の中で下に敷くか、自分のスペース内で背面に置くようにして下さい。(お1人様のスペースは 左右1m×奥行1mです。)

b) 箱について

箱は、ダンボール箱、木箱、トランク、カートなど、両手で持てるサイズまでなら、何でもけっこうです。本棚や什器を足して、高さを高くしても構いません(危険のない程度に)。箱から飛び出る看板や手書きPOP、ペイントしたり小物で飾るなど、見た目に趣向を凝らす工夫は自由にやってください(あまり横にはみ出ないように)。**明らかに横に大きく、周りに迷惑がかかる場合は、片づけていただく**場合があります。畳める箱は持ち運びに便利です。ディスプレイのアイデアは、WEBサイト掲載写真なども参考になるかもしれません。独自のしおりやおまけ等を付けるのも楽しいです。箱を置く敷物もしくは机、座るイスなどは事務局側では提供いたしません。店主様それぞれ必要なものをお持ちください。

c) スリップについて

【スリップとは?】

出店する本には、各自が屋号・書名・売価を書いた「スリップ」を挟み込んでいただきます。「スリップ」とは、新刊書店の本に挟まっている書名や値段を書いた紙、二つ折りでページに挟み込まれている、アレです。サイズは自由ですが、4.5×24センチが目安。面倒であれば二折でなくとも、**しおりのようなものでも、最悪ポストイットに価格を記すだけ**でも構いません。別紙の見本をコピーして切り抜くと右図のようなスリップを作る事ができます。



- ちなみに・・・古本屋さんでは多くの場合、値札を裏見返しに貼り付けます。これは売るときに剥がすので、糊のつけ方によっては本に汚れが残ってしまい、本の状態にこだわるお客さんとのトラブルを招きかねません。そのためのスリップでもあります。
- また、スリップは、店主各自の売上げ集計に必要なものです。(販売終了時には、売上げ冊数と合計金額を記入した「**売上集計用紙**」を提出していただきます。)スリップがないと、売上げ集計の確認が大変になります。

- スリップは本をお買い上げのお客様には渡りませんので、スリップを名刺代わりに、とお考えの方は、スリップとは別に、オリジナルの葉などを挟んでおくともよいかもれません。
- 「予備スリップ」の用意について**：スリップ紛失や、本の補充の際に白紙のスリップがあると便利です。
- 本は手許に残りませんが、スリップは残ります。後々思い出にもなりますので、ぜひ書名入りスリップの制作をオススメします。他にオリジナルブックカバーなど、アイデア次第でさまざまに一箱古本市を楽しんでください。
- 何らかの理由でスリップ付けができない場合でも、当日お渡しする**「売上集計用紙」に必ず、当日の売上げ、売上げ冊数をご記入し**、お帰りになられる前にスタッフまでご提出下さい。

d) 値付について

値付は店主が自由に行ってください。集計の関係上、最低10円単位としますが、釣り銭対応が煩雑になるのを避けたければ**100円単位の値付をオススメ**します。

e) 釣り銭について

当日のお会計は、すべて参加店主の自己責任でお願いしています。十分な釣り銭のご用意をお願いします。申し訳ございませんが、**事務局での両替はいたしておりません**。

釣り銭の目安(あくまで一般的な目安です) 合計 ¥25300

1000円札:20枚程度 500円玉:4枚程度

100円玉:30枚程度 10円玉:30枚程度

値付の際に、10円単位を無くし最低でも100円単位にすると、釣り銭の対応が格段に楽になります。オススメです。

f) 一箱の事前送付について

古本の入った箱を、事前に北書店に送っていただくことができます。(送料はご負担ください)
以下の宛先に、**10/15(土)着指定**にてお送りください。当日朝9:00過ぎに現地に運んでおきます。
10/14以前の取り置きはお断りしています。ご注意ください。

〒951-8124 新潟市中央区医学町通2番町10-1 ダイアパレス医学町101 北書店
「一箱古本市取り置き」係 10/15(土)着指定
TEL:025-201-7466



当日編

いよいよ当日です。朝9時に現場に集合をお願いします。

【タイムテーブル】

- 9:00** 店主集合・受付・説明（ネームカード・売上集計用紙・アンケート配付）
～指定販売場所への移動、箱の設置、販売開始準備
- 10:00** 販売開始
- 14:45** 各自売場にもどる
- 15:00** 販売終了（**売上集計用紙・アンケート回収**）
箱の片付け後、いったん解散
- 16:30** 打上イベント（新潟市役所前・北書店にて・会場より徒歩15分）
各賞表彰など。
その後会費¥2,000にて懇親会を開催します。奮ってご参加ください。

a) 雨天の場合

テントの用意がありますので、基本的に雨天開催ですが、状況により中止することもあります。不明の場合はお電話でお問い合わせください。イベントが最初から中止になった場合のみ、参加料を返金いたします。

b) 通行止め・集合場所について

オギノ通りは9時から関係者以外通行止めになり（古本市の搬入はできます）10時から車の出し入れができません。次に車が出し入れできるようになるのは、15時です。ご注意ください。集合場所は、パーキングオギノ前です（地図参照）。9時以降、販売場所のご案内を致します。また、首から下げるネームプレート、売上集計用紙、アンケート用紙をお渡しいたします。

c) 販売準備について（9:15～10:00）

販売場所はジャンルなどを考慮の上、事務局側で指定させていただきます。指定の販売場所に移動後、箱の設置と販売の準備に入ります。販売開始は10:00です。時間よりも早く本を見始めるお客さんがいらっしゃいますが、販売はあくまで10時からにしてください。そういうお客さんが気になる場合には、箱に布をかぶせるのも一案です。

【お車で越しの場合】

10:00からオギノ通が通行止めになり、車の出入りができません。お車でのご荷物を運びの方は、**10:00までにオギノ通から車を退出**させてください。会場に再び車が入れるようになるのは15:00以降です。

d) 店番の仕事について(10:00~15:00)

- 休憩をとる時は、一緒にやっている人か、ひとりの場合にはとなりの店主に店番をお願いするなど、となり同士で協力しあってください。人数に限りがありますがスタッフも店番を交代できることがあります(あくまで一時的です)。ご相談ください。
- 売上げやスリップの管理は暇を見つけてこまめに記入することをお勧めします。売上げの集計は意外と手間がかかります。販売終了時にはすみやかに「売上集計用紙&アンケート用紙」の記入、提出ができるよう、お願い致します。
- 昼食も各店主の自主責任でお願いします。商店街に迷惑のかからないように、配慮をお願いします。
- トイレの場所は当日スタッフがご案内します。

e) 撤収について(15:00~)

(時間前に売る物がなくなったら閉店も可能です。売上集計用紙とアンケートを事務局に提出ください)。

14:45になったら、各自の売場に戻ってください。

15:00になったら一斉に販売を終了します。**売上集計用紙とアンケート用紙に必要事項を記入、提出して下さい**。ネームカードを返却し、箱と本を片付け、周囲のゴミを拾ってお持ち帰りください。打上げイベントまでいったん解散となります。

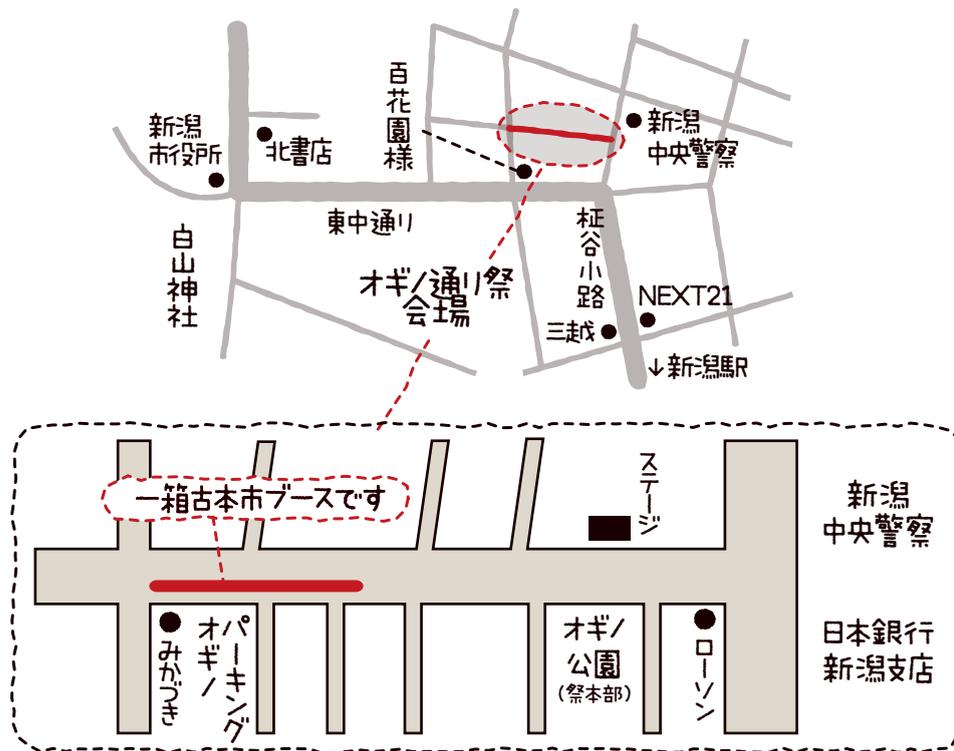
f) 打上について(16:30~)

北書店(別紙地図参照・会場より徒歩約10分)にて、16:30より打上げイベントがあります。内容は、ユニークな店主やよく売れた店主の表彰、店主インタビュー等です。その後に懇親会を予定しています。懇親会に参加される場合、飲食代¥2,000(予定)を頂戴します。

g) 注意事項

- 会場を提供していただいている「オギノ通り祭」のスタッフの皆様や、軒先路をお借りするお店やオギノ通り住民の皆様には、感謝の意をもって接してください。**両替やトイレなどで迷惑をかけないよう**お願いします。
- ゴミは各自で持ち帰ってください。

現地地図・交通のご案内



【お車のご案内】

■関越(北陸)自動車道・新潟西料金所から約30分。磐越自動車道・新潟中央料金所から約15分

■会場には無料駐車場がありません。近隣のコインパーキング等をご利用ください。

9:00前後に現地に来て荷物を下ろしていただき、その後近くの駐車場へ車を移動して、10:00までに戻ってきていただく必要があります。

【公共交通機関のご案内】

■バスの場合:新潟駅万代口バスターミナルより乗車・約10分

●内野営業所行き●信楽園病院前行き●信濃町経由・西部営業所行きで「東中通」下車、徒歩5分

●西循環線・浜浦町先回り「西大畑」下車、徒歩3分

■電車の場合:JR新潟駅が最寄りとなります。

■タクシーの場合:JR新潟駅から約10分。「寄居町の「みかづき」まで」もしくは「新潟中央警察と日銀の近く」と伝えてください。

※公共交通機関ご利用の店主様は、「キャリーカート」などで本を運ぶと便利です。

この度はご出店のほど、本当にありがとうございました。
 秋の一箱古本市が、素敵な一日になることを願っています。
 今後とも、ニイガタブックライトをよろしくお願ひいたします。



「一箱本送り隊」主催「塩竈ブックエイド」へ協力をお願い

被災地である宮城県塩竈に送る本を、寄付で集めています。

「本好きのプロ」である一箱古本市出店者にお願いします。

「送られて喜ばれる本」を、北書店までお持ちいただけませんか？

私たちニイガタブックライトは、被災地で本を読めない生活を強いられているたくさんの人たち、子どもたちのために本を届けるためのプロジェクト「一箱本送り隊」の趣旨に賛同し、被災地支援企画、「塩竈ブックエイド」に協力して、本を送ります。

本は、ニイガタブックライト事務局でまとめて送付します。

一箱古本市の当日までに北書店にお持ちください。

当日売れ残った本からセレクトしていただいても勿論結構です。

「どんな本がいいの？」

“どんな本を集めればいいですか？”とよく聞かれますが、ジャンルは小説、マンガ、写真集、エッセイなどなんでもありだと思います。当初は必要ないのでは？と思っていた料理本や園芸、手芸、旅行ガイドなどの実用書が意外に求められていることも判りました。

逆に、「自分がもらう立場なら、どんな本が困るだろう」と考えてみてください。多少古くても読めればいいのですが、全体に書き込みがしてあったり、ページがちぎれていたらイヤですね。

情報を伝えることを目的とする本（マニュアル書など）で、あまり以前に刊行された本も困ります。要するに、もらった人が読んでくれそうな本を集めていただきたいのです。”

～一箱本送り隊WEBサイトより

当日は会場で一箱本送り隊の活動の紹介と

活動資金の募金も行います。

塩竈ブックエイドでは、集まった本をバザー形式で販売します。

無料ではない理由や、一箱本送り隊の詳しい活動内容などは

次ページをご覧ください。

「一箱本送り隊」とは？

被災地で、本を読めない生活を強いられているたくさんの人たち、子どもたちのために本を届けるためのプロジェクトです。ウェブサイトなどで本の提供を広く呼び掛けることはあえてしていません。**全国の一箱古本市のネットワークを生かし、いわば「本好きのプロ」**にお願いして、「本を読みたい」人の気持ちになって被災地に本を送っています。通常、被災地の方々に欲しい本をお聞きし、それに合わせて集めて送っていることも多いようです。

前回一箱古本市のゲストでもある編集者の丹治史彦氏が「隊長」一箱古本市の仕掛け人、南陀楼綾繁さんと編集者の豊永郁代さんが呼びかけ人となって結成されています。

「塩竈ブックエイド」とは？

10/22(土)と23(日)に宮城県塩竈市で行われる、一箱本送り隊初の主催イベントです。通常の本送り作業ではなく、「古本バザー」として、**集めた本を販売する形で被災地の方に本を届ける**イベントです。古本バザーは、50円、100円、300円などの均一価格で販売します。

(無償配布しないのは、「無料配布もいいけれど、本は10円でも50円でもいいから自分のお金で購入したい」「少しでも経済活動を再開したい」「自分が好きな本を自分で選んで購入することが、自信につながる」という声を現地で多く聞き、その意見を参考に決められたそうです)

同時に一箱古本市も開催、本屋さんごっつこも楽しんでもらう予定です。

何を協力するの？

一箱本送り隊に現在集まっている本だけでは、この二日間のイベントには足りず、全国でブックイベントを開催されている方々に、本を送って欲しいと一箱本送り隊からWEB上でのお願いがありました。ニイガタブックライトからも、本を送りたいと思っています。

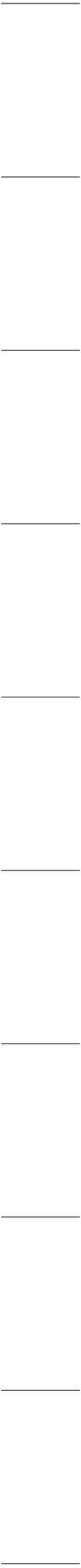
さらに詳しい情報は、「一箱本送り隊」WEBサイトをご覧ください。

皆様のご協力を、お待ちしております。



NIIGATA BOOKLIGHT®





title	

price	_____
shop	_____
price	_____
shop	_____
price	_____
shop	_____
price	_____
shop	_____
price	_____
shop	_____
price	_____
shop	_____
price	_____
shop	_____
price	_____
shop	_____
price	_____
shop	_____
price	_____
shop	_____
price	_____
shop	_____

